

MiTA

水島ポートニュース
Mizushima International Trade Association

2016/3/4

Vol. **56**



特 集

水島港海外ポートセールス実施



Contents

- ・水島港海外ポートセールス実施
- ・JFEフェスタ開催
- ・水島港の利用促進に関する意見交換会を開催
- ・水島港臨港道路(新高梁川橋梁)
- ・水島港外貿定期コンテナ航路の現状



水島地区と玉島地区を結ぶ水島港臨港道路(新高梁川橋梁)工事状況

水島港海外ポートセールス実施報告

ベトナムでポートセールスを実施

平成28年1月20日から23日までの間、MITAの海外ポートセールスでは水島港運協会の村瀬勇人会長を団長として13名からなる訪問団でベトナム北部を訪問し、首都ハノイ市とハイフォン市などで、水島港のポートセールスを実施しました。

まず、1月21日、ハノイ市では、ベトナム運輸省海運総局(VINA MARINE)を表敬訪問し、応対していただいたブイ・ティエン・トゥ副総裁にMITA会長である伊原木隆太岡山県知事からの親書を手渡しました。

続いて、MITA訪問団を代表して村瀬団長が挨拶を行い、近年のベトナムの著しい経済発展に日本の経済界は大いに注目しており、今後、日本とベトナムの間の経済交流拡大に伴い、両国間のコンテナ貨物の流通量増加が見込まれるであろうと述べました。

これに対し、同海運総局のブイ副総裁からは、MITA訪問団一行を歓迎する言葉を述べていただきました。さらに同副総裁は、ベトナム国内では、円借款など日本の多大な支援により港湾施設のみならず、道路や橋梁などのインフラ整備が着々と進んでいること、また、岡山県からはベトナムへ多数の企業が進出・展開しており、ベトナム経済発展の大きな牽引力となっていることに対する感謝の言葉が伝えられました。

その後も訪問団は、ブイ副総裁をはじめ、同海運総局の幹部らと意見交換を行いました。その中で、日本とベトナムの港湾管理等に関する仕組みの違いなどに関する話題に議論が及び、ベトナム側から日本の港湾管理・運営のノウハウについて関心が寄せられるなど、実務に踏み込んだ内容の質問が多数出されました。

さらに訪問団側からは、1996年の開設以来、水島港とベトナム・ダナン港を結ぶ定期コンテナ航路は水島港で取り扱う国際コンテナ貨物量の約4分の1を占める極めて重要な航路であり、今後も一層の拡大を図りたいと発言したところ、ブイ副総裁からは、2018年中の稼働を目指して建設中のハイフォン・ラックフェン港は、水深14メートルの岸壁を整備する計画であり、ラックフェン港と水島港とが新たな航路で結ばれることを希望するとの発言がありました。

なお、ブイ副総裁は、岡山大学大学院への留学経験もある大変な親日家であるとのこと、岡山からのMITA訪問団来訪を非常に喜ばれました。日本とベトナム、中でも岡山とベトナムとの一層の文化・経済交流の促進、友好親善に向け、今後も連携していくことで意見が一致しました。

その後も活発な発言が双方から相次ぎ、滞在予定時間を約1時間超過するなど、熱心な意見交換が行われました。

ベトナム海運総局を辞去した後、訪問団は、昨年12月に開通したばかりの高速道路を利用してハノイ市からハイフォン市に移動しました。

この日の夕刻、ハイフォン市内のホテルを会場に、ベトナムで事業活動を行っている日系企業や船会社、物流関係者を招いて「水島港セミナー」を開催し、水島港の機能強化や整備状況等の利便性を説明するとともに、水島港への集荷対策等についての情報を提供しました。

また、水島港とベトナムを結ぶ東南アジア定期コンテナ航路を運航中のワンハイラインズ(株)のハイフォン支店を表敬訪問し、航路の維持・増便など、水島港の更なる利用促進をお願いしました。

ハイフォン市では、日本から進出・展開している企業・現地事業所を表敬訪問し、各社の事業概要の説明を受けました。その中で、ベトナムのみならず東南アジア地域での近年の経済・物流事情、今後の事業展開の方針等について詳細に説明いただくとともに、日本との間のコンテナ物流の動向について意見交換を行いました。

現地で事業活動に取り組む駐在員から見ると、ベトナム経済は着実に発展しつつあり、今後も経済規模の拡大に伴い、日本との物流が活発化するとの意見が多く、訪問団員は熱心に耳を傾けていました。

今後、水島港の航路拡大、取扱貨物量の増加を目指して、官民一体となり、積極的なポートセールスに努めてまいります。

最後に、訪問団の目で見えたベトナムの印象についてですが、都市部は複雑で混沌としている一方で、郊外には広大な農地と原野が広がり、水牛が田を耕し、アヒルが群れをなしている国です。

路上には歩行者と自転車、バイクと乗用車、トラックが入り乱れて走っており、歩道上に屋台や物売りが溢れているなど複雑な印象を与えます。しかしながら若者が多く活気に満ち、誰もが穏和で幸せそうな表情を浮かべていました。



ベトナム海運総局を表敬訪問し、経済交流を要請。



岡山県三村土木部長からブイ副総裁に岡山県知事の親書を手交。



林立するガントリークレーン。(ハイフォン港)



ハイフォン市内で水島港セミナーを開催。



ワンハイラインズ(株)を表敬訪問。



疾走するバイクの群れ。(ハノイ市内)

JFE西日本フェスタinくらしきへ出展



行列ができるほどの人気。列の先には、お目当ての荷役体験機が。

平成27年11月3日、MITAでは、JFEスチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)で開催された「JFE西日本フェスタ inくらしき」に出展しました。

MITAの出展は今回で7回目となり、恒例行事となる中、水島港において取り扱われている貨物や定期コンテナ航路などの紹介や、水島港を紹介するDVDの上映、また、水島港の利便促進に努める活動を紹介するパネルを展示しました。

当日は、晴天に恵まれ、約700人



集まる周囲の注目。お母さんもドキドキ。

もの多数の方に「ご来場をいただきました。」

家族連れのお客者にも人気の荷役体験機(クレーンゲート)によるアトラクションを今回も用意し、コンテナ物を身近に感じてもらいました。

コンテナの模型をうまくつかみ取ることができた方は、ご用意した景品の中から好きな品物を自由に選ぶことができます。中には一度に3個もつかみ上げるお子さんもいて、見ていた周りの人々から大歓声が上がっていました。



水島の昔の写真を見つめる来場者。

この景品用として、多くの会員企業様から多数の製品、商品のご提供をいただきました。ありがとうございました。ミニカーを欲しがるといった傍で、母親が洗剤などの台所用品にするよう話しかけるなど、参加者は、賑やかに、そして楽しそうに希望の品物を選び取っていました。

MITAでは今後とも様々な機会を利用して、広く一般の方々にも水島港の紹介を行い、利便促進に向けた活動を行っていきます。



MITA会員の協力をいただいた景品を選ぶ児童。

水島港国際物流センター(株)が

「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催

当社では、平成27年10月29日、東京都内において「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催しました。水島港に外貿定期コンテナ航路のある船社関係9社をはじめ、地元水島港の船舶代理店4社の皆様、そして行政機関から岡山県港湾課の皆様に出席していただき、水島港国際コンテナターミナルの一層の利用促進を図るため行ったものです。

当社社長中谷の開会あいさつに続き、水島港国際コンテナターミナルの現況や、岡山県内で生産・消費される輸出入コンテナ貨物の利用動向などについて、当社から説明を行うとともに、岡山県港湾課から海外ポーターセールスの実施計画などについて報告をいただきました。その後、意見交換に入り、出席各社から、忌憚のないご意見や有益なご提言を多数いただいたところとです。

ご意見・ご提言の一例としては、「水島港での危険物貯蔵について」、「船社へのインセンティブの拡充について」、「集荷対策として阪神港を利用して荷主の分析について」、「水島港の海外へのアピールについて」などがあり、今後、水島港国際コンテナターミナルの利用促進やコンテナ貨物量の増加に向けて、検討を行うこととしました。また、意見交換会終了後に

開催した懇親昼食会は、和やかな会となり、親睦を深めることができました。

今回の意見交換会では、外貿定期航路の船社様をはじめ、関係の皆様と一堂に会し、意見交換を行うことができ、大変有意義なものとなりました。今後とも、こうした取り組みを継続して行いたいと考えています。

(水島港国際物流センター)



意見交換会の様子



中谷庄吉社長のあいさつ

工事が進む水島港臨港道路(新高梁川橋梁)

水島港は、生産拠点として我が国の基幹産業が集積する水島地区と物流の拠点である玉島地区から成り立っています。しかし、この両地区の間には一級河川高梁川が流れており、地区間の移動には川を上流に大きく迂回するとともに、住宅地も通り抜ける必要があり、輸送コストの削減や交通渋滞の緩和などが強く求められてきました。このため、国土交通省では、両地区間の移動時間短縮と周辺環境の改善を目指して、平成20年度から高梁川に全長約2.5kmの臨港道路橋梁の整備を進めています。

この臨港道路橋梁は、輸送距離や輸送時間の短縮により約46億円の物流コスト削減が見込まれるとともに、耐震化構造の橋梁として整備することから、大規模地震発生時においても、水島・玉島両地区を連絡する道路として大いに貢献するものと考えており、国土交通省としても全力で建設に取り組んでまいりました。

現在、橋梁の建設は、水島側から玉島側までの全ての橋桁架設を完了させ、現地では1本の橋梁としてその全貌を見るに至っており、引き続き平成28年度の供用開始に向けた橋面の舗装工事、取付け部の工事などを

職員一同全力で進めていくこととしております。

(中国地方整備局宇野港湾事務所)



水島側の橋桁及び上部工の施工状況



水島側の床版コンクリート部に「たから保育園」の園児たちが「お絵かき」を行うイベントを実施しました。

水島港の外貿定期コンテナ航路等の紹介

中谷興運株式会社 玉島支店

■当社が水島港において取り扱っております船会社・航路をご紹介します。

【台湾・ベトナム航路 週1便 ◆ 韓国航路 週6便 ◆ 神戸フィーダー 週3便】のサービスを提供しております。

()内は、水島港を起点とした所要日数

★萬海航運公司(WAN HAI LINES LTD)

毎週月曜発:ダナン(-12)/CAT LAI(-10)/高雄(-6)/台中(-5)/台北(-4)~水島(月)~台北(+5)/台中(+6)/高雄(+7)/ダナン(+9)/CAT LAI(+11)
-台湾T/Sにより、東南アジア・華南地域(含珠江デルタ)・中近東・欧州・南米へサービス可能-

★高麗海運(KMTC LINE)

毎週火曜発:POHANG(-5)/ULSAN(-4)/PUSAN(-3)~水島(火)~POHANG(+2)/ULSAN(+3)/PUSAN(+4)※1
毎週金曜発:PUSAN(-2)~水島(金)~PUSAN(+2)
-釜山T/Sにより、東南アジア・中国主要港・華南地域(含珠江デルタ)・中近東・極東ロシアへサービス可能-

★天敬海運(CK LINE)

毎週土曜発:INCHEON(-4)/PUSAN(-2)~水島(土)~PUSAN(+1)/INCHEON(+2)※1
毎週水曜発:POHANG(-4)/PUSAN(-4)/PUSAN NEW PORT(-3)~水島(水)~PUSAN NEW PORT(+2)/PUSAN(+2)/POHANG(+3)
-釜山T/Sにより、中国主要港・ベトナム・タイ・極東ロシアへサービス可能-

★汎洲海運(PAN CON LINE)

毎週木曜発:ULSAN(-6)/PUSAN(-3)~水島(木)~ULSAN(+1)/PUSAN(+2)※1
-釜山T/Sにより、中国主要港へサービス可能-

※1...韓国航路3船社(KMTC/CK-L/PAN CON)による共同配船便につき、どの便へもBooking可能

※2...MOL利用により、釜山T/Sで世界各地へのサービスが可能

★カメラライン(Camellia Line)

毎週水曜発:PUSAN NEW PORT(-1)~水島(水)~PUSAN NEW PORT(+2)
-釜山T/Sにより、基幹航路運航船社のサービス網へ接続します-

★ユニエックス(水島⇄神戸)内航フィーダーサービス

水島(火・木・土) ⇄ 神戸(月・水・金)
神戸本船へ接続することにより、世界各地へ輸送可能

★海上輸送のほか、通関・荷捌・保管・集荷・配送、小口混載貨物、大型重量物などあらゆるサービスに対応いたします。
お気軽にお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ先

中谷興運株式会社 玉島支店

〒713-8103 TEL.086-522-6321(代) FAX.086-522-6631

岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-2(玉島ハーバーアイランド内)

営業課 / TEL.086-522-7600(貨物取扱全般・武田・平松)

通関課 / TEL.086-522-6492(輸出入通関・石井・三谷原)

倉庫・陸運課 / TEL.086-522-6494(倉庫・配送:片山・中島)

海務課 / TEL.086-523-5551(船社代理店・CY:洲脇・横山)

日本通運株式会社 水島海運支店

当社は水島港より韓国(釜山)、中国(上海)をハブにドアToドアのサービスを提供しております。

船社紹介

◎中国航路A/ 神原汽船株式会社(Kambara Kisen Co.Ltd)

【船名】"CONTRAIL SKY" "RESURGENCE" "TRIDENT" "MUSE" _____ 1便/週(月)

【航路】①天津/大連/青島~水島~寧波/上海 _____
※重慶・武漢・南京・張家港・南通も可。

②寧波/上海~水島~天津/大連/青島 _____ 1便/週(火)

③上海~水島~上海 _____ 1便/週(金)

【リードタイム】(輸入)上海/青島/3日 寧波・大連/4日 天津/6日

(輸出)上海/寧波/4日 大連/9日 青島/10日 天津/7日

【船社小口混載】(輸入)上海、寧波、大連、青島、天津 可。(輸出)上海、大連

【その他サービス】東南アジア航路(上海T/S)

(ホーチミン、ジャカルタ、スラバヤ、シンガポール、ポートケラン、

レムチャパン、バンコク、ホノコン)

中国華南サービス(上海T/S)

(東莞、江門、中山、珠海、順徳、汕頭、蛇口、黃埔、塩田)

中東航路サービス(上海T/S)

(ドバイ、コロンボ)

◎中国航路B/ 吉舟船務有限公司(JI Zhou Shipping)

日本総代理店 (株)鴻洋通商

【船名】"JI HONG" "GUANG PING" _____ 1便/週(火)

【航路】①厦門/江陰/福州~水島~福州/厦門/江陰 _____
※直行便。水島がファーストポート。

【リードタイム】(輸入)厦門/5日 江陰/4日 福州/3日 (輸出)福州/8日 厦門/9日 江陰/10日

【船社小口混載】福州 受付可。

◎韓国航路A/ 興亜海運株式会社(Heung-A Shipping)

日本総代理店 三栄海運株式会社

【船名】"Heung-A TOKYO" _____ 2便/週(水)(土)

【航路】①釜山~水島~釜山 _____

【リードタイム】(輸入)釜山/2日 (輸出)釜山/1日

【船社小口混載】釜山 可。

【その他サービス】全世界(釜山T/S)

◎韓国航路B/ 南星海運株式会社(NAMSUNG SHIPPING)

日本総代理店 南星海運ジャパン株式会社

【船名】"MERRY STAR" "GLORY STAR" _____ 1便/週(月)

【航路】①釜山~水島~釜山 _____

【リードタイム】(輸入)釜山/3日 (輸出)釜山/2日

【船社小口混載】対応不可。

【その他サービス】韓国航路(釜山T/Sを含む、仁川、光陽、蔚山、平澤等)、北中国航路(釜山T/S)、中国華南航路(釜山T/S)、ベトナム・タイ航路(釜山T/S)

その他サービス ①沖縄航路/那覇~水島~那覇 _____ 1便/週(木)

■お問い合わせ先

日本通運株式会社 水島海運支店

〒713-8103

岡山県倉敷市玉島乙島新湊8259-15(玉島ハーバーアイランド内)

岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1水島国際コンテナターミナル管理棟4F(代理店課)

国際営業課 / TEL.086-523-0203 FAX.086-523-0404(国際営業)

国際輸送課 / TEL.086-523-0203 FAX.086-523-0404(通関・フォワーディング)

代理店課 / TEL.086-523-0204 FAX.086-523-1755(船社代理店関係)

海運課 / TEL.086-523-0205 FAX.086-523-1471(港湾荷役・倉庫・配送)

オペレーション課 / TEL.086-523-0223 FAX.086-523-1471(作業関係)

株式会社 上組 玉島支店

当社が水島港において取り扱っております船会社・航路をご紹介します。

1. 民生輪船有限公司

【上海航路】:週2便 ①水島(火)~上海(土)②水島(金)~上海(火)

【大連・青島航路】:週1便 ①水島(火)~大連(金)~青島(土)

※上海・大連・青島 T/Sにて寧波、天津、連雲港、蘇州、重慶、武漢、張家港その他中国国内各港、台湾・タイ・ベトナムへのサービスも行っております。

2. 西日本内航フィーダー合同会社

【内航フィーダー】:週1便 船名:①エメラルド号
神戸(土)~水島(火)~神戸(土)

3. 井本商運株式会社

【内航フィーダー】:週2便 ①神戸(火)~水島(火)~神戸(水)

②神戸(木)~水島(木)~神戸(金)

4. オー・オー・シー・エル(ジャパン)株式会社

【内航フィーダー】:週3便 ①神戸(木)~水島(木)~神戸(金)

②神戸(金)~水島(金)~神戸(土)

③神戸(月)~水島(月)~神戸(火)

その他、Hapag-Lloyd社、株式会社商船三井、東進エージェンシー株式会社船代理店業務を行っております。

■お問い合わせ先 株式会社 上組 玉島支店 港運課

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1

TEL.086-525-8670 / FAX.086-525-0890

山九株式会社 岡山支店

当社は水島港において、船会社:長錦商船(Sinokor Merchant Marine Co., Ltd./通称:シノコー)の船代理店として、韓国航路週2便のサービスを下記スケジュールにて提供しております。

◎1便目 プサン:北港(月)~水島(火)~プサン:北港(木)~プサン:新港(木)

◎2便目 プサン:北港(木)~水島(土)~プサン:北港(日)

プサン(北港)を中継地に、中国主要港、東南アジア(ベトナム、タイ、インドネシアに加え、カンボジア、ミャンマー、バングラディッシュ、インド、フィリピン)、ロシア(ウラジオストク・ポスターニ)との接続を可能にしております。

また、1便目においては、プサン(新港)へも寄港しており、欧米航路運航船社と提携した全世界への輸送を可能としております。

■お問い合わせ先 山九株式会社 岡山支店 業務グループ

船代理店関係/港運係 通関・輸出入乙仲関係/輸出入係

〒712-8051 岡山県倉敷市中畝1-7-23 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1

TEL.086-455-8133 FAX.086-455-8167 水島港国際コンテナターミナル4F

メール mokayama@sankyu.co.jp TEL.086-525-0039 FAX.086-525-5139